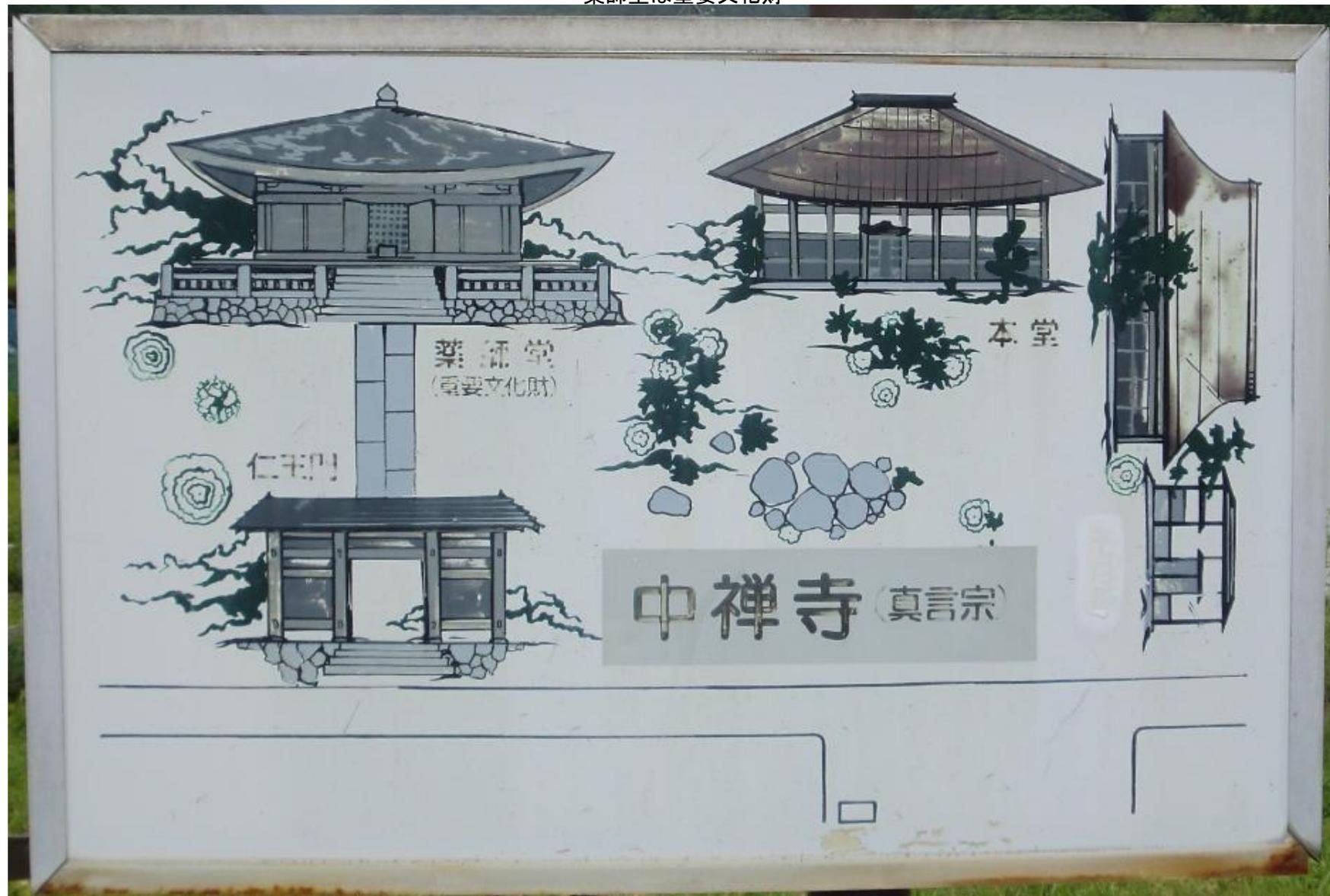


次は中禅寺です



薬師堂は重要文化財





仁王門



金剛力士像は長野県宝という



後白河法王・平清盛の発願によるもので、県内最古の力士像となるという



薬師堂を見る



薬師堂/平安時代末～鎌倉時代初期/長野県最古(中部日本最古)/重要文化財



藤原時代に多く行われた「方三間の阿弥陀堂形式」であるが、肘木(ひじき)の曲線や格狭間の形などから鎌倉初期の建立と思われるという



## 長野県宝

### 中禅寺木造金剛力士立像

種別 有形文化財・彫刻  
指定年月日 平成13年3月29日

中禅寺木造金剛力士立像は、阿形(右)と吽形(左)の二体があり、それぞれ高さが約207cmで、金剛力士像としては小振りですが、全体のバランスが良く、怒りの表情も誇張を抑えた、都風の典雅な感覚が表現されています。こうした作風は、平安時代後期の醍醐寺像や峯定寺像(いずれも重文・京都府)と共通しています。細部では腰帯やポーズの取り方、指の開き方などに平安後期様式 of 金剛力士像の特徴があり、12世紀末頃の制作と考えられています。

平安後期の金剛力士像は長野県内はもとより全国的にも数が少なく、当寺院及び当地方の繁栄を具体的に伝える資料として、薬師堂及び薬師如来像(いずれも重文)とともに貴重な作例です。

## 国指定重要文化財 中禅寺薬師堂

種別 有形文化財・建造物  
指定年月日 昭和11年9月18日

中禅寺薬師堂は「方三間の阿弥陀堂」という形式で建てられています。方三間とは東西南北のどの方向から見ても柱が4本立っていて、間が三つあることをいいます(柱と柱の間を間と呼びます)。

茅葺屋根のてつべんに、少し先の尖った丸い玉(宝珠)や、その下に四角な台(露盤)をのせて、真上から見ると、真四角な屋根に見えます。これを「宝形造」といいます。扉は正面に3か所、残りの三方に1か所ずつあり、あとはみな板を横に張った板壁になっています。このような建て方は、平安時代の終わりごろに行われた形式で、岩手県平泉町にある国宝の中尊寺・金色堂などが、その代表的な例です。

また薬師堂の中ほどに、4本の丸い柱(四天柱)を立て、その中に本尊の薬師如来が安置されています。この様式も中尊寺・金色堂と同じです。

このような特徴から、薬師堂が建てられたのは、平安時代末から鎌倉時代初期と考えられています。約800年前の長野県最古の建物であるばかりでなく、中部日本最古といわれる貴重な建物です。

## 国指定重要文化財 木造薬師如来坐像 附 木造神将立像

種別 有形文化財・彫刻  
指定年月日 大正12年3月28日

『木造薬師如来坐像』 桂材 寄木造 像高97.8cm  
中禅寺薬師堂の本尊である薬師如来坐像は、平安時代後期に隆盛した和様を基本にしたつくりで、顔の表情やからだ全体の表現は、穏やかで丸味を帯びています。しかし、肩や膝の張りが強く、衣の皺の彫りも深く、また、両眼や唇も明快に刻まれているという鎌倉彫刻の特徴もみられます。これらの特徴から、本像は、13世紀の鎌倉時代初期の制作と考えられています。半眼を開いた穏やかな目、整った鼻筋、語りかけるような口元など、円満でふくよかな顔立ちは、病に悩み一心に拝む人々の心に、安らぎを与えてくれたに違いありません。

『附木造神将立像』 檜材 寄木造 像高68.2cm  
この神将像は、薬師如来を信仰する人々を守る「十二神将」の一体と考えられますが、その印である頭上の支駄(千支をあらわす獣)を欠いているために尊名ははっきりしません。髪は焰髪(燃え盛る焰のような髪)、目は瞋目(両眼を大きく見開き睨みつける目)で、顔は怒りの表情をあらわにし、鎧をつけた武将の姿をしています。全体の表現から南北朝時代末頃(14世紀末)の制作と考えられています。

建て方は中尊寺・金色堂と同じ平安時代末の形式と同じという



前山寺本堂と同様に屋根の曲線が独特である

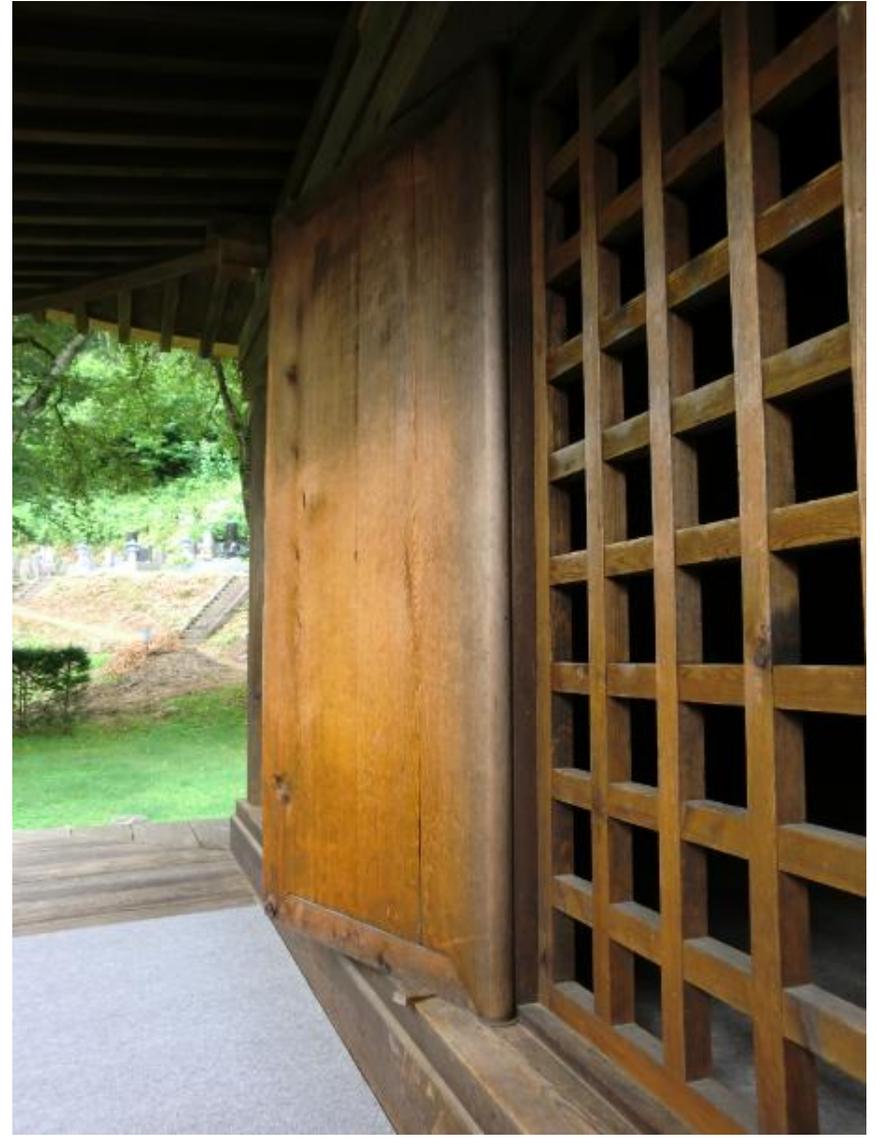
宝形造(切裏甲茅葺屋根)











真上から見ると屋根の輪郭が真四角に見えるとのこと



木造薬師如来坐像附木造神将立像/重要文化財



五輪塔/鎌倉時代/上田市指定文化財



各部(地輪・水輪・火輪・風空輪)の高さは、全体の高さに対しそれぞれ調和がとれており、重厚で立派な五輪塔とのこと

# 上田市指定文化財 石造五輪塔

種別 有形文化財・建造物  
指定 昭和48年4月9日  
材質 安山岩  
総高 157センチメートル  
最大幅 58センチメートル

作者 沿革は不明であるが、水輪は球形に近くて、火輪の勾配、軒先の厚みと反り、四隅の切り出し、風輪は極めて端正でまた雄大の風格があり、火輪の反りも美しく、水輪の円相中に刻まれた梵字(ハチ大日如来を示す)は力強く彫りを示している。上田市内における五輪塔中、造立年代は古い方に属し、また最も整ったものの一つである。

## 保存上の注意

- 指定文化財に触れないこと
- 指定部物件の環境整備と清掃をすること
- 許可なく現状を変えないこと

上田市教育委員会

本堂



そばに浄土庭園が併設されている

